

平成22年第2回潟上市議会定例会会議録（4日目）

○開 議 平成22年6月21日 午前10:00

○散 会 午前10:09

○出席議員（19名）

1 番 中 川 光 博	2 番 大 谷 貞 廣	3 番 児 玉 春 雄
4 番 藤 原 幸 作	5 番 菅 原 理 恵 子	6 番 澤 井 昭 二 郎
7 番 菅 原 久 和	8 番 伊 藤 栄 悦	9 番 戸 田 俊 樹
10 番 佐 藤 義 久	11 番 小 林 悟	13 番 佐 藤 昇
14 番 藤 原 典 男	15 番 西 村 武	16 番 鈴 木 斌 次 郎
17 番 堀 井 克 見	18 番 藤 原 幸 雄	19 番 佐々木 嘉 一
20 番 千 田 正 英		

○欠席議員（1名）

12 番 岡 田 曙

○説明のための出席者

市 長 石 川 光 男	副 市 長 鏡 利 行
教 育 長 肥 田 野 耕 二	総 務 部 長 山 口 義 光
会 計 管 理 者 佐 々 木 博 信	産 業 建 設 部 長 児 玉 俊 幸
水 道 局 長 菅 原 龍 太 郎	教 育 次 長 鈴 木 公 悦
市 民 生 活 部 長 小 林 健 一	福 祉 保 健 部 長 鈴 木 司
総 務 課 長 藤 原 貞 雄	企 画 政 策 課 長 幸 村 公 明
活 性 化 推 進 室 長 関 谷 良 広	財 政 課 長 川 上 護
産 業 課 長 伊 藤 清 孝	総 務 学 事 課 長 鎌 田 雅 樹
生 涯 学 習 課 長 菅 原 一	市 民 課 長 鈴 木 利 美
生 活 環 境 課 長 近 藤 進	社 会 福 祉 課 長 大 木 充
税 務 課 長 山 平 重 男	都 市 建 設 課 長 渡 部 智
農 業 委 員 会 事 務 局 長 根 一	選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 長 ・ 監 査 委 員 会 事 務 局 長 三 浦 永 寿

追分出張所長 三 浦 喜 博 幼児教育課長 小 玉 隆
高齢福祉課長 伊 藤 律 子 健康推進課長 伊 藤 正 吉

○議会事務局職員出席者

議会事務局長 伊 藤 正 議会事務局次長 門 間 善一郎

平成 22 年第 2 回 潟上市議会定例会日程表（第 4 号）

平成 22 年 6 月 21 日（4 日目）午前 10 時開議

会議並びに議事日程

日程第 1 諸般の報告（議長）

日程第 2 総括質疑

1. 議案第 38 号 潟上市住民基本台帳カードの利用に関する条例（案）について
2. 議案第 39 号 潟上市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例（案）について
3. 議案第 40 号 潟上市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（案）について
4. 議案第 41 号 潟上市国民健康保険税条例の一部を改正する条例（案）について
5. 議案第 44 号 天王本郷自治会館の指定管理者の指定について
6. 議案第 45 号 平成 22 年度潟上市一般会計補正予算（第 1 号）（案）について
7. 議案第 46 号 平成 22 年度潟上市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）（案）について
8. 議案第 47 号 平成 22 年度潟上市老人保健特別会計補正予算（第 1 号）（案）について
9. 議案第 48 号 平成 22 年度潟上市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）（案）について
10. 議案第 49 号 平成 22 年度潟上市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）（案）について
11. 議案第 50 号 平成 22 年度潟上市下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）（案）について
12. 議案第 51 号 平成 22 年度潟上市水道事業会計補正予算（第 1 号）（案）について

日程第 3 提出議案委員会付託（初日配布の付託表のとおり）

午前10時00分 開議

○議長（千田正英） おはようございます。

ただいまの出席議員は19名であります。

なお、12番岡田議員から所用のため欠席届が出されております。

定足数に達しておりますので、これより平成22年第2回潟上市議会定例会を再開します。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりです。

【日程第1、諸般の報告】

○議長（千田正英） 日程第1、諸般の報告を行います。

本日の総括質疑について申し上げます。

通告者は14番藤原典男議員1名です。

また、東北国土交通省労働組合共闘会議から6月16日付で、「暮らしと地域を壊す地域主権改革に反対し、国の責任として国民の安全・安心を守る行政を求める要請書」が提出されています。お手元にお配りしてありますので、議員各位においてご確認をお願いします。

これで報告を終わります。

【日程第2、総括質疑】

○議長（千田正英） 日程第2、これより提出議案に対する総括質疑を行います。

議案第38号から議案第41号および議案第44号から議案第51号までの12件を一括議題として質疑を行います。

なお、総括質疑の時間は答弁を含めて15分とし、発言は最初は発言席において、再質疑からは自分の席においてお願い致します。

14番藤原典男議員の質疑を許します。14番。

○14番（藤原典男） おはようございます。通告に従いまして総括質疑を行います。

1番め、議案第38号、潟上市住民基本台帳カードの利用に関する条例（案）について伺いたいと思います。

提案されている条例（案）の第3条では、サービスの内容を、1つめ、住民票、2つめ、印鑑登録証明書、3つめ、所得証明書および課税証明書の3点を挙げていますが、戸籍謄本や戸籍抄本についてはサービス内容に含まれていません。法的な制約について、

また、将来的には戸籍謄本、戸籍抄本もサービス内容に含むことができるのかどうか伺いたいと思います。

2つめ、議案第41号、潟上市国民健康保険税条例の一部を改正する条例（案）について伺います。

国民健康保険税については、5年間で旧3町の不均一課税の税率を統一するということが、市当局が取り組み、今年度で最後の所得割の統一の提案ということになりましたが、平成19年6月定例会での議案質疑の際、最終的に所得割が12.1%になるということを知っていました。提案は9.1%です。引き下げた背景には基金との関係や医療費の動き、経済事情を反映したこと、収納率を見込んでのことなどとかいろいろ要因があると思いますが、この点についての考え方を伺いたいと思います。

また、国民健康保険税は一度確定しても社会経済の景気が流動的であり、医療費や収納率も反映して今までのように長期に同じ税率で臨むことは難しいものと思われます。3年、5年ぐらいの期間で行うのか、単年度ごとの提案も今後検討していく可能性があるのかどうか、この点についても伺いたいと思います。

どうか宜しくお願い致します。

○議長（千田正英） 当局より答弁を求めます。鈴木市民課長。

○市民課長（鈴木利美） おはようございます。

それでは、14番藤原典男議員の総括質疑の1つめ、議案第38号、潟上市住民基本台帳カードの利用に関する条例（案）についてお答え致します。

今回導入した証明書自動交付機は、国際的な標準出力でありますPDF形式を取り入れ、広域化、あるいはコンビニ対応も可能となるものであります。

戸籍発行を行う場合は、一般的に法務局の認可が必要であります。このPDF形式は比較的新しい技術であり、潟上市がシステム構築の検討を行った時点では法務局の認可が下りておりませんでした。最近になって他県において潟上市と同様の機種が下りたという情報がありますので、将来的には実施できるものと思われます。

続きまして、2つめの議案第41号、潟上市国民健康保険税条例の一部を改正する条例（案）についてお答え致します。

はじめに、国保を取り巻く現状についてご説明致します。

国保の加入者は年間約150人減少しておりますが、医療費は年々約2,000万円の増額となっております。収納率につきましては、税務課の頑張りによりまして87%を保って

る現状となっております。

税率改正においては、被保険者の所得が大きく影響するもので、潟上市の場合は所得が前年度より約5億円の減少となっている現状であります。

ご質問の中で10.2%を12.1%に訂正されましたが、これらの数値はいずれも当時の複数の案の一つでありました。今回9.1%にした経緯は、昨今の社会経済状況を考えたとき、被保険者の皆様にとっては大きな負担となり、ますます収納率が下がっていくものと推測されました。それに加えて、近隣市町村の動向を見ますと現状維持、もしくは引き下げる市町村もあるということも考慮しながら、このように決定しております。

また、国保財政の今後の考え方としましては、国の動向は後期高齢者医療制度の廃止をとらえており、国保もこれに合わせて広域化の検討に向けて今年度から市町村担当課長および担当者会を立ち上げる予定となっております、それまでの間は、そのときの社会情勢を考慮した税率としていかなければならないものと考えております。

以上です。

○議長（千田正英） 再質疑ありますか。14番。

○14番（藤原典男） 議案第38号については今後は可能性があるという回答でしたので、これはわかりました。

それから議案第41号ですけれども、今の経済情勢を考えればやはり市民の大きな負担になっていくということで引き下げたということは大変私は評価できることだと思います。

基金との関係は今後どうなっていくのか。その基金に対する考え方を伺いたいと思います。

○議長（千田正英） 当局より答弁を求めます。鈴木市民課長。

○市民課長（鈴木利美） 14番さんの再質問にお答えします。

現在の基金の保有状況ですけれども、3,306万8,000円となっております。できれば年々増やしていきたいという考えを持っております。

○議長（千田正英） 再々質疑ありますか。

○14番（藤原典男） 以上終わります。どうもありがとうございました。

○議長（千田正英） これをもって14番藤原典男議員の質疑を終わります。

これで総括質疑を終わります。

【日程第3、提出議案委員会付託】

○議長（千田正英） 日程第3、これより提出議案の常任委員会付託を行います。

議案第38号から議案第41号および議案第44号から議案第51号までの12件については、6月15日の本会議で配付致しました委員会付託表のとおり、それぞれ所管の各常任委員会に審査を付託致します。

以上で、本日の日程は全部終了しました。よって、本日はこれで散会します。

なお、6月28日月曜日、午前10時より本会議を再開しますので、ご参集願います。

どうも御苦労さまでした。

午前10時09分 散会